

2021年8月24日

東京学芸大学 文部科学省委託「高等学校における日本語指導体制整備事業」

企画開発委員会調査部会 第2回ヒアリング 資料

大阪府立東淀川高等学校（普通科）

大阪府立東淀川高校における外国人生徒等の教育

1. はじめに 大阪府の入試概要

大阪府での入試制度

日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜

実施校（特別枠校）【枠設置年度】7校

府立門真なみはや高校（総合学科） 【2001年】

府立長吉高校（総合学科（エンパワメントスクール））【2001年】

府立八尾北高校（総合学科）【2002年】

府立成美高校（総合学科）【2003年】

府立布施北高校（総合学科（エンパワメントスクール））【2005年】

府立福井高校（総合学科）【2015年】

★府立東淀川高校（普通科） 【2017年】

「特別枠」対象者：原則として小学校4年生以上の学年に編入したもの

（それ以外でも府教委と相談の上弾力的な対応あり）

入試科目：数学、英語、作文（母語使用可能）

募集定員：12～16人程度の募集 変動あり*

（2021年度：16人（東淀川）・12人（長吉・布施北）・14人（なみはや・八尾北・成美・福井））

（国際系、英語系のコース：「海外から帰国した生徒の入学者選抜」も実施

海外に継続して2年以上滞在、帰国後2年以内）

2. 大阪府立東淀川高等学校 の現状

① 生徒の実態

平成29年（2017年度）「日本語指導が必要な帰国生徒外国人生徒入学者選抜」実施開始

今年で6年目

平成29年度（2017年度）14人 入学 →（15人 卒業） → 1名編入学で3年時より入学

平成30年度（2018年度）14人 入学 →（14人 卒業）

平成31年度（2019年度）16人 入学 （現3年生）

令和2年度（2020年度）16人 入学 （現2年生） → 1名帰国のため、現在15名

令和3年度（2021年度）16人 入学 （現1年生）

特別枠入試合格者の生徒のルーツ（現在1～3年）47名

中国 …26人（日本国籍4名） / フィリピン…13人（日本国籍2名）

ネパール…5人 タイ…2人 / ガーナ…1人

【一般入試合格者に対して】

入試願書より把握→合格者説明会時に聞き取り調査→保護者懇談での通訳
外国にルーツがある生徒5名（韓国2名、中国3名）

外国にルーツを持つ在籍者数（2021年月4月1日現在、ルーツ別）（ ）内は特別枠

学年	中国	パル	フィリピン	タイ	ウクライ	韓国	パルー	ガーナ	合計
1年	7 (7)	2 (2)	5 (5)	1 (1)		1		1 (1)	17 (16)
2年	13 (10)	2 (2)	2 (2)	1 (1)					18 (15)
3年	9 (9)	1 (1)	6 (6)			1			17 (16)
2020卒業生	12 (10)	1 (0)	3 (3)		1 (1)				17 (14)
2019卒業生	11 (10)	3 (3)	2 (1)	1 (1)		1	1		19 (15)
2018卒業生	2		1			3			6
在籍生合計	29 (29)	5 (5)	13 (13)	2 (2)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (1)	52 (47)

※ H31 (R01) 入学生から特別枠人数が16人に（←H30まで14人）※R02.8.1年生1人退学（中国へ）

ルーツをもつ生徒と、枠合格者を分けるため校内での独自の呼称（くろーばあ生）

合格者に対して

→個人情報聞き取り（渡日年月、在留資格・滞在年数などをヒアリングシートをもとに聞き取り
（学校説明会、家庭訪問時に記入） 中学校訪問、日本語把握調査 *別資料

渡日年別：ダイレクト～小4までと幅広い来日で入学

学年	小4	小5	小6	中1	中2	中3	ダイレクト	計
1年		3	2	3	5	1	2	16
2年	1	1	4	5		4		15
3年			2	6	3	1	4	16
合計	1	4	8	14	8	6	6	47

課題：受験を考えている中学生やダイレクトの受験生への説明会・見学会の機会の確保が必要
日本語等の学習意欲が十分ではない生徒、卒業後はルーツのある国で進学を希望する生徒が入学することがある

在留資格

学年	家族滞在	定住	永住	日本国籍	計
1年	7	5	0	4	16
2年	5	8	1	1	15
3年	5	7	1	3	16
合計	17	20	2	8	47

日本語能力に関して

入学後クラスの編成 1年 初級、中級、上級クラスに分かれて国語の抽出授業
教科指導に関しては2クラス展開
2年3年では理系選択、クラスでの授業を受ける生徒もいる
（目安：日本語能力検定試験N1合格）

・生活・学習上の困難

中学訪問、家庭訪問、母語の授業、個人懇談（年1～2回）での把握

② 教科学習支援

【国語抽出】 日本語指導：学校設定科目（時事日本語Ⅰ） 7名で対応

1年	国語総合4単位		
2年	現代文B3単位	時事日本語Ⅰ 2単位	
3年	現代文B3単位	時事日本語Ⅰ 2単位	国語表現 2単位

【その他の教科・抽出授業に関して】（令和3年度）

日本語力と学力を総合的に判断し、抽出授業を実施

1年 実技科目以外の全ての科目

現社、数Ⅰ、数A、化基、コミュ英Ⅰ、英表Ⅰ、保健は二人体制（初級中級に分ける場合が多い）

2年3年 実技科目以外の必修科目及び一部の理系科目

抽出授業の目的 原学級に戻ることに。生徒にそのように指導している。

抽出授業の内容 教科担当者に任せているが、多文化PTで相談に応じることもある。

個別抽出計画を作成 教務部等と連携して時間割の編成 教科担当と連携してクラス分け

1年	現代社会・数学Ⅰ・数学A・化学基礎・コミュ英Ⅰ・英語表現Ⅰ・保健 社会と情報・家庭基礎（入）
2年	数学Ⅱ・生物基礎・物理基礎・保健・日本史A
3年	総合社会・数学活用・時事英語

+ 第一言語（1年（全員）・2年3年（選択）

本年度（ガーナ、ネパール、タイ、フィリピン、中国）

母語指導としての第一言語

- ・全学年に母語・継承語の授業を学校設定科目として設定。1年次は必修、23年次は選択
- ・1年 火曜2限（卒業に必要な単位に含まれる）。火曜2限の授業を月曜7限に実施
- ・2年生（火曜34限）、3年生（火曜56限）
- ・担当 特別非常勤講師

中国ルーツの生徒が多数であることから、中国語は特別非常勤講師とNCTで指導

【課題】普通科であること、学級数減に伴う教員定数減により体制の維持も困難になっている。教員定数と非常勤講師時数にも限りがある中、抽出授業・放課後や土日の校内外の取組みを行っている。抽出授業の増加（教員の持ち時間数が大幅に増加）、講座編成、教室確保

多くの教員で対応 日本語を担当する教員：7人

教科指導を行う教員：26人（教諭、常勤）、10人（非常勤）

③ 進路支援 ・就職支援

【就職】

指定校推薦、AO入試、共通テスト（英語・中国語利用）、一般入試

就職（学校斡旋）、浪人・帰国

【進学】

日本人と同じ条件、進路指導部の就職指導の下で進学。

2020年度 フィリピンの生徒が製造業に就職 本年度も2名の生徒が進学希望

【進路希望及び進路実現状況】

年度によりかなり特徴がある。生徒の能力により入試方法等も異なる。

	指定校	国公立	私立	短大	専門	就職	帰国	浪人	未定他
第1期生	1		5	3	4 職訓1			2	
第2期生	2		4 看護1	2		1	1	3	1
現3年 (希望)			12		1	2			1

第1期生 浪人生2名、昨年度 私立大学に入学

第2期生 浪人生は、国公立、名門私立を目指し予備校

課題：卒業に向けて 先輩の話を聞く機会が大切（帰国・渡日生の進路説明会等）

④ 多文化共生にかかわる組織体制

【校内組織】

◆多文化共生推進4者会議（毎週1回）…多文化主担・副主担・日本語指導主担・多文化研究部主顧問

→検討事項・生徒情報交換、クラブ等活動計画、仕事割振り各会議への資料作成 etc

◆多文化共生推進PT（学期に1回程度）…生徒の情報交換、渡日生の授業カリキュラム等の検討

◆抽出担当者会議（学期に1回程度）…抽出授業を担当している先生たちで情報の共有

●校内連携

教務関連、生活関連、進路関連、校内調査、外部連携

NCTの活用：週2回中国語の指導

（本年度実施なし）PTA 多文化お料理交流会、

補足【多文化共生推進委員会（多文化PT）の業務に関して】

○構成

- ・多文化主担（総務部所属（1人））
- ・各学年主任・渡日生学級担任（学年2人）・日本語指導担当者・多文化研究部顧問
- ・分掌（教務・進路・生指・総務）各1人と人権教育推進委員会1人

○担当内容：渡日生に関わる諸課題

- ・教務関連 抽出授業・クラス編成、系・コース選択指導、抽出授業の組み方の検討と提案
抽出授業担当者の意見交換会、日本語指導、母語指導等
- ・生活関連 合格後の家庭訪問・保護者懇談、在留資格の把握等
- ・生徒指導 生徒指導・学校行事等
- ・進路関連 進路開拓、進路相談等

- ・校内調整 学年、分掌、教科との情報共有と連携等
- ・外部連携 府教育庁への文書提出（加配申請・保護者懇談等）、特別非常勤講師（母語指導）の調整 学校内外の説明会等への参加（生徒引率の場合あり）

【部活動】（多文化研究部） 卒入学者（くろーばぁ生）は全員入部

火曜日：日本語学習指導 金曜日：文化指導（国紹介、文化祭など）

進路指導・保護者懇談・事務書類の提出のサポート等、郊外での活動（通訳ボランティア等）

その他の部活動に関しては任意

学年	剣道	サッカー	バスケットボール	バドミントン	ラグビー	ダンス	軽音楽部	茶道	放送
1年	0	1	3	3	0	0	5	0	1
2年	4	0	1	0	2	0	0	1	1
3年	0	0	0	0	0	1	0	0	1
合計	4	1	4	3	2	1	5	1	3

・生徒会執行部の渡日生 今年度前期（3年生1人 2年生1人）

・生徒会サポートメンバーの渡日生 今年度前期（1年生3人）

⑤ 地域の団体・大学等の取り組みに関して

関大のインターンシップを利用（2週間） 日本語指導、放課後活動などのサポート

府立外教 WaiWai トークへの参加

（本年度は実施なし）

NPO 法人おおさかこども多文化センター 地下鉄ボランティアへの参加

豊中国際交流センター 豊中国際フェスティバルへの参加

地域小学校への英語出前授業 府立外教行事への参加

（特活）関西 NGO 協議会ワン・ワン・ワールド・フェスティバル for Youth への参加

⑥ その他 府教育委員会による支援状況

（1）加配

・日本語指導加配 2人、卒校加配1人 合計3人

（2）その他

・日本語指導に係る非常勤講師時数（38時間）

・母語指導のための特別非常勤講師※ ルーツに応じた第一言語の科目を設定。

・保護者懇談時の通訳派遣

（3）放課後の学習指導や部活動指導等を含め、加配人数＋非常勤時間数を超えた取組みを実施